

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年5月9日

東

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所
コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 新谷 正伸
問合せ先責任者（役職名） 取締役兼執行役員 管理部門担当（氏名） 大谷 隆一（TEL）03-3518-1111
半期報告書提出予定日 2025年5月12日 配当支払開始予定日 2025年6月13日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	68,129	4.9	4,104	△4.9	4,410	△10.6	3,451	9.7
2024年9月期中間期	64,928	4.5	4,317	13.9	4,935	31.3	3,146	24.8

(注) 包括利益 2025年9月期中間期 3,315百万円(△12.4%) 2024年9月期中間期 3,785百万円(48.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	119.86	119.23
2024年9月期中間期	109.32	108.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	77,145	50,196	65.0
2024年9月期	75,390	47,809	63.3

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 50,105百万円 2024年9月期 47,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	22.00	—	33.00	55.00
2025年9月期	—	28.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	29.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	2.1	7,100	0.4	7,500	△5.1	4,900	△5.9	170.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年9月期中間期	29,007,708株	2024年9月期	29,007,708株
2025年9月期中間期	197,535株	2024年9月期	213,035株
2025年9月期中間期	28,798,862株	2024年9月期中間期	28,780,574株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの売上高は、68,129百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は4,104百万円(前年同期比4.9%減)、経常利益は4,410百万円(前年同期比10.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は3,451百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントの区分及び名称を変更しています。詳細は、「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注意事項(セグメント情報等)」に記載のとおりです。

① ファインケミカル

ゴム関連商品は、国内向け原材料需要の好調継続に加え、円安進行を受けた輸入品の販売価格見直しにより、売上、利益ともに好調でした。

化学品関連商品は、市況の影響を受けて主力商材の需要が弱含んでいることや、円安進行による輸入品仕入価格上昇により、売上、利益ともに減少しました。

この結果、ファインケミカルの売上高は21,741百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は1,386百万円(同4.3%増)となりました。

② インダストリアル・プロダクツ

モビリティ関連商品は、国内における自動車シート用本草の取り扱い終了の影響を受けたものの、販売価格の見直しや為替差益により、売上、利益ともに堅調でした。

北米は、Sanyo Corporation of America、Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.の売上が好調でした。中国は、景気減速と競争激化による日系自動車メーカーの減産により、Sanyo Trading (Shanghai) Co., Ltd.の売上、利益がともに減少しました。アセアンは、市況の影響を受けてSanyo Trading Asia Co., Ltd. (タイ)の売上、利益がともに減少しました。

この結果、インダストリアル・プロダクツの売上高は19,411百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は1,825百万円(同8.5%減)となりました。

③ サステナビリティ

グリーンテクノロジー関連商品は、飼料加工機器の関連消耗品販売が好調であったことや、木質バイオマス関連事業で大型案件を計上したことにより、売上、利益ともに好調でした。

コスモス商事(株)が取扱う資源開発関連商品は、海洋調査資機材関連を筆頭に海洋開発分野が業績を牽引し、地熱関連機材や石油・ガス関連機材も好調でした。

この結果、サステナビリティの売上高は6,347百万円(前年同期比69.2%増)、営業利益は873百万円(同96.8%増)となりました。

④ ライフサイエンス

ライフサイエンス関連商品は、円安を背景とした電材の輸出が増加し、マテリアルソリューション関連の売上、利益がともに堅調でした。科学機器関連商品は、需要の弱含みや円安進行による輸入品仕入価格の上昇により、売上、利益ともに減少しました。

(株)ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は販売数量増により、売上が好調でした。(株)スクラムが取扱うバイオ関連機器は遺伝子解析関連機器の代理店契約終了の影響で不調でした。

この結果、ライフサイエンスの売上高は20,025百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は1,007百万円(同28.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、現金及び預金が増加したこと等から前連結会計年度末比2,283百万円増加し、65,390百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の売却及び差入保証金の返金等により前連結会計年度末比528百万円減少し、11,754百万円となりました。

この結果、総資産は77,145百万円(前連結会計年度末比1,754百万円増加)となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金の減少等により前連結会計年度末比496百万円減少し、25,102百万円となりました。

固定負債は、投資有価証券の売却に伴う繰延税金負債の減少等により前連結会計年度末比135百万円減少し、1,845百万円となりました。

この結果、負債は26,948百万円(前連結会計年度末比632百万円減少)となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する中間純利益の計上による株主資本の増加等により、純資産は50,196百万円(前連結会計年度末比2,387百万円増加)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比3,296百万円増加し、10,664百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,328百万円の収入(前年同期は4,044百万円の収入)となりました。税金等調整前中間純利益の増加や売上債権及び契約資産の減少等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,155百万円の収入(前年同期は887百万円の支出)となりました。主に、定期預金の払戻や投資有価証券の売却による収入等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,236百万円の支出(前年同期は1,073百万円の支出)となりました。借入金の返済や親会社による配当金支払い等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期連結業績予想につきましては、2024年11月7日発表の通期予想から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,007,322	10,918,901
受取手形、売掛金及び契約資産	24,215,073	22,733,021
電子記録債権	2,479,000	2,921,013
商品及び製品	24,772,923	24,378,261
仕掛品	75,669	141,742
原材料及び貯蔵品	332,113	306,485
その他	3,351,962	4,123,751
貸倒引当金	△126,832	△132,430
流動資産合計	63,107,232	65,390,748
固定資産		
有形固定資産	3,160,249	3,456,695
無形固定資産		
のれん	1,401,622	1,273,868
その他	701,957	638,460
無形固定資産合計	2,103,580	1,912,328
投資その他の資産		
投資有価証券	4,877,344	4,481,305
その他	2,177,044	1,945,173
貸倒引当金	△34,930	△41,180
投資その他の資産合計	7,019,458	6,385,297
固定資産合計	12,283,287	11,754,321
資産合計	75,390,519	77,145,069

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,573,928	12,197,616
短期借入金	4,358,289	3,058,321
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,107,888	1,809,686
引当金	984,274	522,812
その他	6,475,404	7,414,501
流動負債合計	25,599,784	25,102,938
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
引当金	75,510	47,121
退職給付に係る負債	977,195	946,120
その他	878,697	802,399
固定負債合計	1,981,403	1,845,641
負債合計	27,581,188	26,948,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	447,262	461,807
利益剰余金	42,981,511	45,483,213
自己株式	△102,568	△95,105
株主資本合計	44,332,793	46,856,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854,913	1,542,991
繰延ヘッジ損益	19,682	72,448
為替換算調整勘定	1,509,900	1,633,995
その他の包括利益累計額合計	3,384,497	3,249,436
新株予約権	90,995	90,420
非支配株主持分	1,044	130
純資産合計	47,809,331	50,196,489
負債純資産合計	75,390,519	77,145,069

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	64,928,260	68,129,745
売上原価	53,405,232	56,314,056
売上総利益	11,523,027	11,815,689
販売費及び一般管理費	7,205,327	7,711,165
営業利益	4,317,700	4,104,524
営業外収益		
受取利息	21,864	29,987
受取配当金	58,934	65,473
為替差益	480,629	237,318
その他	135,512	69,295
営業外収益合計	696,941	402,076
営業外費用		
支払利息	32,732	41,702
その他	46,241	54,150
営業外費用合計	78,973	95,852
経常利益	4,935,667	4,410,747
特別利益		
投資有価証券売却益	—	929,545
特別利益合計	—	929,545
税金等調整前中間純利益	4,935,667	5,340,292
法人税等	1,782,029	1,889,260
中間純利益	3,153,637	3,451,032
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	7,287	△894
親会社株主に帰属する中間純利益	3,146,350	3,451,926

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	3,153,637	3,451,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470,755	△311,899
繰延ヘッジ損益	—	52,765
為替換算調整勘定	161,548	124,094
その他の包括利益合計	632,303	△135,038
中間包括利益	3,785,941	3,315,993
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,777,373	3,316,887
非支配株主に係る中間包括利益	8,568	△894

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,935,667	5,340,292
減価償却費	152,415	218,029
のれん償却額	350,057	254,284
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,740	11,629
賞与引当金の増減額(△は減少)	△353,027	△419,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,828	△31,071
その他の引当金の増減額(△は減少)	△37,390	△70,589
受取利息及び受取配当金	△80,799	△95,461
支払利息	32,732	41,702
為替差損益(△は益)	48,328	△71,509
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△929,545
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△2,578,102	1,155,343
棚卸資産の増減額(△は増加)	599,601	461,438
仕入債務の増減額(△は減少)	373,960	△485,694
契約負債の増減額(△は減少)	3,410,881	694,196
前渡金の増減額(△は増加)	△862,201	△839,266
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	△981	262,590
その他	△363,987	△77,977
小計	5,640,243	5,418,491
利息及び配当金の受取額	145,559	100,086
利息の支払額	△32,624	△39,587
法人税等の支払額	△1,709,084	△1,150,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,044,093	4,328,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△407,984	△96,660
定期預金の払戻による収入	103,820	599,754
有形固定資産の取得による支出	△139,238	△149,498
無形固定資産の取得による支出	△206,345	△12,148
投資有価証券の取得による支出	△37,731	△307,402
投資有価証券の売却による収入	—	1,215,002
子会社株式の条件付取得対価の支払額	△152,440	△90,870
保険積立金の解約による収入	247,500	—
その他	△295,540	△2,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△887,961	1,155,338

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△210,748	△1,301,730
長期借入金の返済による支出	△214,691	—
配当金の支払額	△632,969	△950,224
非支配株主への配当金の支払額	△5,734	△19
その他	△9,702	15,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073,845	△2,236,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	△87,689	49,248
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,994,596	3,296,023
現金及び現金同等物の期首残高	6,900,965	7,367,997
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,895,562	10,664,021

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産の評価方法は総平均法による原価法を採用していましたが、当中間連結会計期間より先入先出法によって評価しています。

この評価方法の変更は基幹システムの更改を契機に、棚卸資産の動きをより詳細に把握することが可能となり、適正な棚卸資産の評価及び期間損益計算の観点から、棚卸資産の評価方法について再度検討したことによるものです。

この結果、当社の保有する棚卸資産の動きと整合する先入先出法を採用することが合理的であり、当社の経営実態をより適切に反映すると判断しました。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に公布され、2026年10月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引上げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の30.62%から2026年10月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については31.52%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	ファイン ケミカル	インダストリ アル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,842,972	19,438,021	3,752,394	20,102,092	64,135,481	678,002	64,813,484	114,775	64,928,260
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,139,014	928,213	223,847	1,778,690	5,069,765	298,403	5,368,168	△5,368,168	—
計	22,981,987	20,366,234	3,976,241	21,880,783	69,205,247	976,405	70,181,653	△5,253,392	64,928,260
セグメント利益 又は損失(△)	1,329,135	1,995,271	443,829	1,400,120	5,168,356	△59,338	5,109,017	△791,317	4,317,700

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額114,775千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△791,317千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△617,025千円、管理会計との為替調整額△155,283千円、その他の連結調整額△19,008千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、2022年9月期に行いました(株)スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん350,260千円を計上しています。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
	ファイン ケミカル	インダストリ アル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	21,741,216	19,411,471	6,347,545	20,025,785	67,526,019	603,726	68,129,745	—	68,129,745
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,522,254	674,913	185,329	1,872,951	5,255,448	232,232	5,487,681	△5,487,681	—
計	24,263,470	20,086,384	6,532,874	21,898,737	72,781,468	835,958	73,617,426	△5,487,681	68,129,745
セグメント利益 又は損失(△)	1,386,413	1,825,768	873,490	1,007,899	5,093,572	△188,880	4,904,692	△800,167	4,104,524

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及び不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△800,167千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△792,867千円、管理会計との為替調整額△49,909千円、その他の連結調整額42,609千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、2022年9月期に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生したことにより、「ライフサイエンス」セグメントにおいて、のれん126,530千円を計上しています。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、セグメントごとの事業内容や戦略を明確化し、経営資源を効率的に配分することで、事業運営の透明性と業績管理の精度を向上させ、資本市場への情報開示をより明確にすることを目的として、報告セグメントを変更しています。

従来の報告セグメントである「化成品」「機械資材」「海外現地法人」を再編し、新たに「ファインケミカル」「インダストリアル・プロダクツ」「サステナビリティ」「ライフサイエンス」の4つに変更しています。化成品は、製品特性や市場ニーズの違いを踏まえ、「ファインケミカル」と「ライフサイエンス」に分割しました。機械資材は、市場領域に応じて、「インダストリアル・プロダクツ」「サステナビリティ」「ライフサイエンス」に分割しました。海外現地法人は、市場対応力の向上と効率的な業績管理を図るため、「ファインケミカル」「インダストリアル・プロダクツ」「ライフサイエンス」に分割しました。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の区分及び名称に基づき作成し、開示しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	ファイン ケミカル	インダストリア ル ・プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計			
日本	14,786,818	12,104,984	3,690,304	11,184,252	41,766,359	623,740	—	42,390,100
北米	467,999	1,836,295	—	7,037,806	9,342,102	—	—	9,342,102
中国	1,794,757	2,210,151	—	300,404	4,305,313	—	—	4,305,313
ASEAN	2,576,049	1,753,339	16,341	879,189	5,224,919	—	—	5,224,919
その他 (インド・ 欧州等)	1,217,346	1,533,251	45,749	700,438	3,496,786	—	—	3,496,786
顧客との 契約から 生じる収 益	20,842,972	19,438,021	3,752,394	20,102,092	64,135,481	623,740	—	64,759,222
その他 の収益	—	—	—	—	—	54,262	114,775	169,038
外部顧 客への 売上高	20,842,972	19,438,021	3,752,394	20,102,092	64,135,481	678,002	114,775	64,928,260

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで構成されており、その中の「顧客との契約から生じる収益」は主に情報システム事業に係るもの、「その他の収益」は主に不動産賃貸業に係るものです。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額	合計
	ファイン ケミカル	インダスト リアル・ プロダクツ	サステナ ビリティ	ライフ サイエンス	計			
日本	15,180,362	12,931,089	6,307,919	10,882,721	45,302,092	559,815	—	45,861,907
北米	382,203	1,956,218	—	7,500,248	9,838,670	—	—	9,838,670
中国	1,981,612	1,495,902	—	437,480	3,914,995	—	—	3,914,995
ASEAN	2,674,893	1,431,628	5,400	533,191	4,645,114	—	—	4,645,114
その他 (インド・ 欧州等)	1,522,144	1,596,631	34,225	672,144	3,825,146	1,053	—	3,826,199
顧客との 契約から生 じる収益	21,741,216	19,411,471	6,347,545	20,025,785	67,526,019	560,868	—	68,086,888
その他の 収益	—	—	—	—	—	42,857	—	42,857
外部顧 客への 売上高	21,741,216	19,411,471	6,347,545	20,025,785	67,526,019	603,726	—	68,129,745

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントで構成されており、その中の「顧客との契約から生じる収益」は主に情報システム事業に係るもの、「その他の収益」は主に不動産賃貸業に係るものです。

- 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。
- 前連結会計年度までは、日本、アメリカ、中国、その他の区分で開示していましたが、2024年9月10日付の適時開示「報告セグメント変更に関するお知らせ」のとおり、区分を「日本」「北米」「中国」「ASEAN」「その他(インド・欧州等)」に変更しています。なお、前中間連結会計期間においては、変更後の国・地域区分にて開示しています。